

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-8155

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月13日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 2 2 B 11/00

C 2 2 B 11/04

審査請求 未請求 請求項の数6 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-192651

(22) 出願日 平成8年(1996) 6月19日

(71) 出願人 596107143

中澤 博幸

千葉県茂原市緑町21番地2

(72) 発明者 中澤 博幸

千葉県茂原市緑町21番地2

(54) 【発明の名称】 パラジウムの回収方法

(57) 【要約】

【目的】 従来のパラジウム回収方法で使用される王水を一回で廃棄する事なく繰り返し使用することを可能ならしめ、かつ高品位パラジウムを効率的に回収することができる新規なパラジウム回収方法を提供する。

【構成】 パラジウムを王水に溶解させた後、ヨウ素あるいはヨウ化物を添加してヨウ化パラジウムとして分離し、ヨウ化物水溶液に溶解させた後、還元してパラジウムを回収する。原料のパラジウムの溶解に使用した王水と回収に使用したヨウ化物は繰り返し使用する。

【効果】 パラジウムを溶解した王水にヨウ化物を添加して、王水に不溶のヨウ化パラジウムとして分離にすることにより高品位のパラジウムが得られ、かつ溶解に使用した王水は繰り返し使用することが可能となり経済性を向上させた。

でパラジウムを効率よく、しかも高品位に回収することができる。またパラジウムを溶解するのに使用する王水は繰返し使用することができるので、強酸性排水を著しく減少することが可能となり、従来の方法と比べ中和処

理等の負担が著しく軽減された。また焼成による有害ガスの発生も無く、回収操作も簡素化され、経済的に有利な効果が得られる。